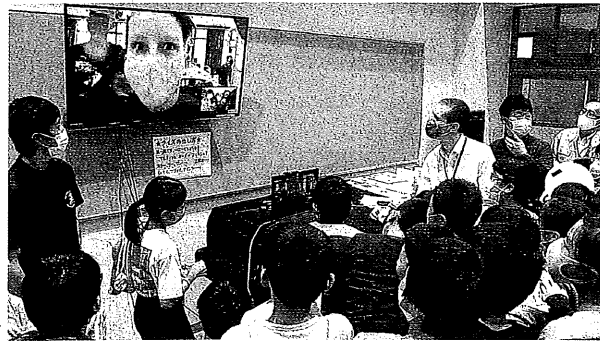


交流時間の最後にカメラに殺到する両国の児童たち



ドイツの生徒と オンライン交流

言葉への反応も積極的

上越市立 飯小5年生 クイズ出題など

上越市立飯小(田邊
道行校長)の5年生67
人は8日、ドイツのギ
ムナシウム(中等教育
学校)の生徒とのオン
ライン交流を行った。
東京オンラインピック
・

バラリンピックに向け
たホストタウン交流の
一環で、同市教育委員
会オンラインピック・バラ
リンピック推進室が協
力を行った。同推進室
はこれまで、ドイツ料理
の給食や同国について
学ぶ出前授業を行って
いたが、直接の交流は
初めてとなる。

小学5年生に相当)26
人とビデオ通話をつな
いだ。両校は互いの町
や学校生活などを写真
を用いて紹介。上越市
国際交流員のドイツ
・ヤニックさん(ドイ
ツ出身)が通訳を務め
た。

飯小は交流に向けて
複数回の事前学習を実
施。事前学習で学んだ
両国の違いをテーマに
したクイズを出題した
り、ジャンケンや
「あっち向いてホイ」
を一緒に遊ぶ場面も
あった。両国の児童は
相手方の言葉に対して
大きくリアクションを
取り、積極的にコミュ
ニケーションを楽しん
でいた。

土屋裕徳君は「最初
は緊張したけど、盛り
上がって楽しかった。
初めてのことで、どて
もしい機会。また交流
したい」と話してい
た。